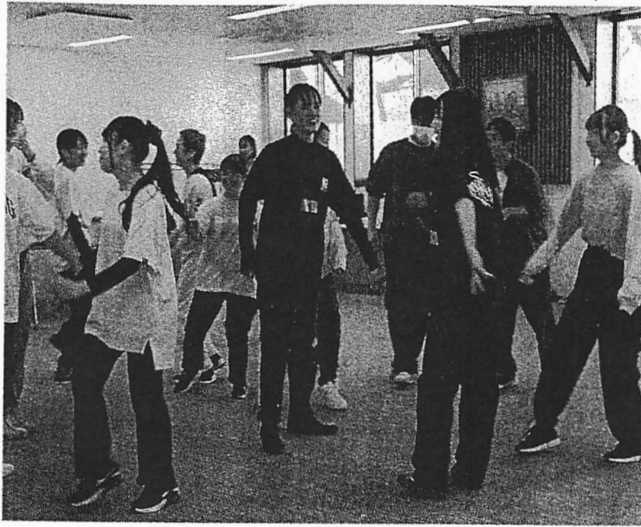




# 総合学科社会福祉系列と有志生徒で

# 映画と福祉のコラボ事業に参加しました

## 障害に理解深める



### まちキネ上映主演俳優と鶴中央高生コラボ

鶴岡市の鶴岡まちなかキネマで上映された作品の主流するコラボイベントが23

日、市社会福祉協議会本部とまちキネを会場に行われた。

まちキネや隣接する山王商店街などをフィールドに、多彩な講座やワークショップを実施し、市民の学びや交流の場に活用する「山名楽曲が原案のラブストーリー

### 「ダンスパフォーマンス」とトークショーで気持ち一つに

王キネまらち大学」のうち、社会福祉協議会が担当する「映画と福祉のコラボ事業」の一つ。本年度予定した4つのイベントの最終回。18日から24日まで上映された映画『僕が君の耳になる』

に主演した俳優でダンサーの梶本瑞希さんを招き、鶴岡中央高校の有志が一緒にダンスを楽しんだり、トークショーのスタッフなどを担当した。

映画は、ボーカル&手話パフォーマンスグループ「HANDS I G N」が2017年にリリースした同名楽曲が原案のラブストーリー。 Dance Fanを主宰する菊地将晃さんの指導で、梶本さんと共にストレッチをしたり、ダンスを踊りながら体をほぐした後、振り付けを一つ一つ確認しながらマスターしていた。2年の秋、葉詩英さんは「梶本さんと一緒に踊れて楽しかった。もっとダンスがうまくなりたいと思った」と、障害のあるなしにかかわらず気持ちが一つになれるダンスで障害者への理解を深めていた。

梶本さん（中央）と参加者がステップを踏みながらフロアを一周

ワキネまらち大学」のうち、社会福祉協議会が担当する「映画と福祉のコラボ事業」の一つ。本年度予定した4つのイベントの最終回。18日から24日まで上映された映画『僕が君の耳になる』

に主演した俳優でダンサーの梶本瑞希さんを招き、鶴岡中央高校の有志が一緒にダンスを楽しんだり、トークショーのスタッフなどを担当した。